

核データセンターだより(そのⅢ)

「科学と技術のための核データ国際会議」第1次案内

標記核データ国際会議を昭和63年5月30日から6月3日にわたり茨城県水戸市において開催することになりましたので御案内申し上げます。

この会議はOECD原子力機関(NEA)核データ委員会(NEANDC)及び国際原子力機関(IAEA)核データ委員会(INDC)の要請を受け、国内関係機関との協議の結果、開催することになったものです。過去においては英国のHarwell(1978年)、米国のKnoxville(1979年)、ベルギーのAntwerp(1982年)、米国のSanta Fe(1985年)で開かれてきておりますが、アジア地域での開催は今回が最初であります。

この会議には核データを提供する側の核データの測定、評価、理論の研究者と核データを利用する側の原子炉物理、工学をはじめとする広い分野の研究者、技術者が参加致します。参加者数は250~300名を予想しております。会議の主なテーマとしては次ページの「第1次案内」に示した10のテーマを予定しております。多くの方々の御参加が得られますよう各位の御協力をお願い致します。

第2次案内以降の資料を配布するために、資料を希望される方や、本国際会議に御興味を持たれた方は次の形式で、至急下記連絡先まで御連絡下さい。

連絡先

〒319-11 茨城県那珂郡東海村白方白根2-4

日本原子力研究所 物理部 核データセンター

五十嵐 信一

電話(0292)82-5480, ファックス(0292)82-0528

1. 氏 名(漢 字) _____
(ローマ字) _____
2. 職 位 _____
敬 称 _____ (Prof., Dr., Mr., Mrs., Miss のいずれかを示して下さい。)
3. 所 属 _____
住 所 _____

以下に所属と住所を英文で書いて下さい

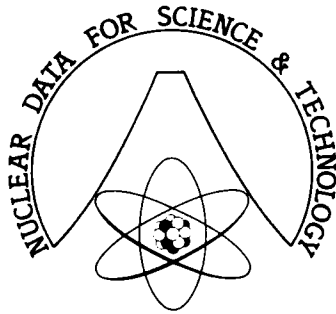
所 属(英文) _____

住 所(英文) _____

4. 電話番号

5. ファックス番号

第1次案内



国内組織委員会委員長 森 茂
(日本原子力研究所)

国内組織委員

堀 雅 夫	動力炉・核燃料開発事業団
菅 藤 實	日本原子力産業会議
田 中 栄 一	放射線医学総合研究所
橋 爪 朗	理化学研究所
宇 佐 美 武	電気事業連合会
立 花 昭	日本原子力発電協
河 井 直 幸	日本原子力事業協
山 田 周 治	日立製作所
西 井 幸 一	三菱原子力工業協
城 戸 達 郎	住友原子力工業協
藤 田 元 嗣	富士電機協
中 嶋 龍 三	法政大学
橋 山 一 典	東北大学
近 藤 駿 介	東京大学
加 藤 敏 郎	名古屋大学
木 村 逸 郎	京都大学
住 田 健 二	大阪大学
神 田 幸 則	九州大学
更 田 豊 治 郎	日本原子力研究所
鹿 園 直 基	日本原子力研究所
松 浦 祥 次 郎	日本原子力研究所
五十嵐 信 一	日本原子力研究所

国際プログラム委員

K. H. Bockhoff	CBNM, Geel	C. E. C.
S. Cerjacks	KFK, Karlsruhe	F. R. Germany
C. Coceva	ENEA, Bologna	Italy
H. Conde	FOA, Stockholm	Sweden
T. Fuketa (Chairman)	JAERI, Tokai	Japan
H. Gruppelaar	ECN, Petten	Netherlands
S. Igarasi	JAERI, Tokai	Japan
J. E. Lynn	AERE, Harwell	U. K.
A. Michaudon	ILL, Grenoble	France
J. Rosen	NEA Data Bank, Saclay	OECD NEA
J. L. Rowlands	AEE, Winfrith	U. K.
M. Salvatores	CEA, Cadarache	France
J. J. Schmidt	IAEA, NDS, Vienna	IAEA
A. B. Smith	ANL, Argonne	U. S. A.
M. G. Sowerby	AERE, Harwell	U. K.
P. G. Young	LANL, Los Alamos	U. S. A.

科学と技術のための

核データ国際会議

1988年5月30日～6月3日

水戸市

主催 日本原子力研究所

協賛 動力炉・核燃料開発事業団
理化学研究所
電気事業連合会
日本電機工業会
日本原子力産業会議

後援 科学技術庁(予定)
OECD/NEA
IAEA
日本原子力学会
日本物理学会

トピックス

1. 核分裂炉用の核データ
2. 核融合炉用の核データ
3. 核データの測定施設、装置及び測定方法
4. 核データの解析及び評価
5. 核物理理論及び核模型
6. 核構造・崩壊データ
7. 核燃料サイクル及び
廃棄物処理用の核データ
8. 線量測定及び
照射損傷研究用の核データ
9. 医学及び工業用の核データ
10. その他